



**地域金融機関と協調し、三伸ホールディングス株式会社に対し、
資本再構築を金融面からサポート**

商工中金は、地域経済への影響力を有する中小企業の皆さまが取り組む円滑な事業承継に向けたお取組みを、関係機関と連携を図りながら、積極的にサポートしています。

商工中金（神戸支店）は、三伸ホールディングス株式会社（本社：兵庫県神戸市、代表者：加地 重久）に対し、みなと銀行と協調し、グループ会社の株式取得資金を融資しました。

同社グループは、バイオマス発電所向けクレーンや橋梁などの製造を手掛けています。2020年にはグループ会社の三伸工業株式会社が経済産業省より地域未来牽引企業に選定され、近年では、JAXA種子島宇宙センターでのロケット射場用設備の製造や北海道大樹町でのロケットエンジン燃焼試験設備の製造を手掛けるなど、宇宙関連事業へも進出しています。

三伸ホールディングス株式会社は、同社グループの持株会社として2024年に設立されました。今回同社は、円滑な事業承継を見据え、グループ会社の株式を取得・集約し、資本構成の再構築を行いました。

商工中金は、現地訪問や経営者との対話を通じた綿密な事業性評価を行い、同社グループの強みや財務面、資本政策上の課題を共有。本取組みが将来の円滑な事業承継につながるものと判断し、地域金融機関と協調して、本契約を締結しました。

商工中金は、関係機関と連携して課題解決のための総合的なサポートを行うことで、地域経済にとって必要不可欠な中小企業の価値向上、地域活性化に貢献してまいります。

【三伸ホールディングスの概要】

所在地	兵庫県神戸市長田区二番町2丁目2-1
代表者	加地 重久
従業員数	33名（2024年8月、グループ合計）
設立	2024年6月



【射場設備製作事例】